

基本方針

地球にとって当社の環境管理は本当に小さな一歩である。当社の行動が少しでも次の世代に悪い影響を残さないようにこの環境管理を進める【四つのR (Refuse=断る、Reduce=減らす、Reuse=再使用、Recycle=再資源化)の遂行】。

1. 当社の総務部・油脂営業部・油脂静岡工場は、ブレーキ液、クーラント及びウインドウオシヤ液の設計、開発、製造、販売のすべての過程における企業活動が環境に与える影響を的確にとらえる。

これらにかかわる関連の法律、規制を明確にし遵守することを誓い、技術的・経済的に可能な範囲で汚染の予防に努め、全社的な環境目的・目標及び計画を定め、定期的な見直しにより継続的な改善を計る。

2. 環境管理の保全活動を推進するために、社員が活動できる環境管理組織を整備するとともに、利害関係者の理解と協力を取り付ける。
3. 当社の総務部・油脂営業部・油脂静岡工場が行う製造活動が環境に与える影響の中で、特に次の項目について取り組む。
 - a) 住宅地域内で企業活動している立地条件を認識し、汚水、悪臭、騒音の低減を計る。
 - b) 電気・燃料等のエネルギーを節約し、環境負荷の低減に努めることにより地球温暖化の抑制に貢献する。
 - c) 産業廃棄物の減量化を計り、リサイクル化を推進する。
 - d) 梱包資材等の効率的な活用や紙類の有効利用など省資源化を計る。
 - e) 地域社会の一員として小さな環境運動を推進する。
4. お客様の製品使用から廃棄に至るまでを考慮した製品の開発に努める。
5. 社内環境監査を実施し、自主管理による環境管理システムの維持向上に努める。
6. 環境教育をとおして全社員への環境方針の周知徹底と、改善活動等の実績を周知することによって、意識向上を計るとともに、関係諸官庁及び地域住民とのコミュニケーションを計り、地域社会の環境保全に積極的に貢献する。
7. 本方針は全従業員に周知するとともに、一般にも公開する。

2003年11月17日
制研化学工業株式会社
代表取締役社長 山田 實